

死生学

専攻

領域

（博士前期/修士・博士後期・前後期共通）

試験科目： 英語 試験時間：（ 90 ）分

第1問

模範解答

出題意図

宗教者と孤独に関する上記の内容を理解しつつ、アカデミックな水準の英語を厳密に読み解き、理解する力を問う。

第2問

模範解答

出題意図

臓器移植と死の定義に関する上記の内容を理解しつつ、アカデミックな水準の英語を厳密に読み解き、理解する力を問う。

第1問

採点基準

- ・スピリチュアル・マーケットの展開をめぐる専門知識や社会状況の知識を正しく有しているかどうか
- ・その知識に基づき、スピリチュアル・マーケットにおける消費行動を説明できているかどうか
- ・その知識と比較に基づき、スピリチュアル・マーケットの功罪の両側面について、論理的かつ客観的に自分の考察を述べられているかどうか

出題意図

スピリチュアル・マーケットの展開に関する専門知識を問うとともに、それに基づいて、その宗教的・宗教学的課題を客観的な視点から考察できる思考力・判断力、およびその思考を論理的に記述する表現力を問う。

第2問

採点基準

- ・「聖なるもの」をめぐる専門知識や関連する宗教学的知識を正しく有しているかどうか
- ・その知識と問題文の読解に基づき、穢れを聖なるものへと変容させる宗教における儀礼について説明できているかどうか
- ・その知識と説明に基づき、聖なるものの働きについて、俗なるものと関係させながら論理的かつ客観的に自分の考察を述べられているかどうか

出題意図

オットーの「聖なるもの」概念に関する宗教学的な専門知識を問うとともに、それに基づいて、聖なるものと儀礼の関係を客観的な視点から考察できる思考力・判断力、およびその思考を論理的に記述する表現力を問う。

第3問

採点基準

- ・自殺の対人関係理論を含めた、自殺および自殺予防に関する死生学的知識を正しく有しているかどうか
- ・その知識に基づき、望ましい自殺予防対策を推測できているかどうか
- ・その知識と推測に基づき、社会における自殺予防の有効性について、論理的かつ客観的に自分の考察を述べられているかどうか

出題意図

自殺の対人関係理論に関する死生学的な専門知識を問うとともに、それに基づいて、社会における望ましい自殺予防対策について客観的な視点から考察できる思考力・判断力、およびその思考を論理的に記述する表現力を問う。

第4問

採点基準

- ・科学技術によるエンハンスメントやケアをめぐる倫理的・死生学的な専門知識を正しく有しているかどうか
- ・その知識と問題文の読解に基づき、技術による弱者支援の具体的な事例や主題を挙げ、説明できているかどうか
- ・その知識と理解に基づき、科学技術によるケアの倫理的課題について、論理的かつ客観的に自分の考察を述べられているかどうか

出題意図

科学技術による弱者支援に関する倫理的・ケア的な専門知識を問うとともに、それに基づいて、その社会的課題ならびに倫理的課題を客観的な視点から考察できる思考力・判断力、およびその思考を論理的に記述する表現力を問う。

第5問

採点基準

- ・エンボディメントおよびスピリチュアル・ケアに関する専門知識を正しく有しているかどうか
- ・その知識に基づき、スピリチュアル・ケアの実践の場面をエンボディメント概念がどのように関わりうるか具体例を挙げて想定できているかどうか。
- ・その知識と想定に基づき、スピリチュアル・ケアとエンボディメントとの関係について、論理的かつ客観的に自分の考察を述べられているかどうか

出題意図

人間の身体性およびスピリチュアル・ケアにかんする専門知識を問うとともに、それに基づいて、その実践的課題を客観的な視点から考察できる思考力・判断力、およびその思考を論理的に記述する表現力を問う。

第6問

採点基準

- ・ネガティブ・ケイパビリティに関する心理学的な専門知識および精神分析学に関する専門知識を正しく有しているかどうか
- ・その知識と問題文の読解に基づき、両者の関係を正しく想定できているかどうか。
- ・その知識と想定に基づき、ケアの場におけるネガティブ・ケイパビリティの意義を論理的かつ客観的に述べられているかどうか。

出題意図

ネガティブ・ケイパビリティに関するケア的・心理学的な専門知識および精神分析学における専門知識を問うとともに、それに基づいて、両者の関係について客観的な視点から考察できる思考力・判断力と、それらを論理的に記述する表現力を問う。